

アンダーグラウンドの底力： ヒップホップとアフリカ系アメリカ人文化

ジェームズ・ピーターソン（リーハイ大学）

12月13日（土） 13:00~15:00

(12:30 開場)

立命館大学 衣笠キャンパス

研心館 3階 631 教室

参加費・事前申込不要

逐次通訳あり

13:00-13:30 「体感型 ヒップホップ入門」

立命館大学学生団体 SHIPS (Seminar for Hiphop Studies)

ヒップホップを構成する4大要素であるMC(ラップ)、DJ、ブレイクダンス、グラフィティについて、ヒップホップを研究する学生が実演を交えながら分かりやすく解説します。



13:30-15:00 「アンダーグラウンドの底力:

ヒップホップとアフリカ系アメリカ人文化」

ジェームズ・ピーターソン (リーハイ大学英文学部准教授)

司会: ウェルズ恵子 (立命館大学文学部教授)

通訳・解説: 坂下 史子 (立命館大学文学部准教授)

“Writers write, teachers teach, activists act...
but a good scholar does all of the above.”

James Braxton Peterson



リーハイ大学英文学部准教授でアフリカーナ・スタディーズ学科長を務めるピーターソン氏は、アメリカ合衆国を代表する新進気鋭のヒップホップ研究者である。近著に *The Hip Hop Underground and African American Culture* (Palgrave Macmillan, 2014)。氏は Nas や Ice-T、Notorious B. I. G. などのヒップホップアーティストに関する論考を多数発表しているほか、Gil Scot-Heron、Snoop Dogg、Sistah Souljah らへのインタビューも行っている。ヒップホップや都市・若者文化の教育的側面を研究し発展させるシンクタンク Hip Hop Scholars を 2003 年に設立して以来、氏は数々のメディアに寄稿し、MSNBC や ABC、CBS、CNN などの主要な報道番組にコメンテーターとして登場している。現在、ヒップホップに関して最も発信力を有する「評論家・教育者・活動家」の一人である。

連続講演会 「流体としてのことば、文化、地域」2015 年の予定

第6回 1月10日(土) 13:00~15:00 敬学館262教室

「フォークテイルの面白さ:『赤ずきん』の真実を読む」

ウェルズ恵子 (立命館大学文学部教授)

第7回 3月26日(木) 13:00~15:00 末川記念会館 第3会議室

「生きている伝統:トラベラーズのスコティッシュ・バラッド(物語歌)」

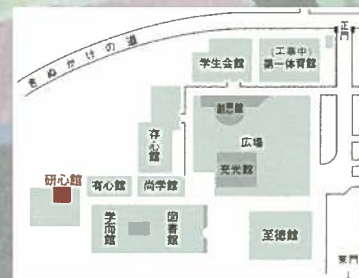
トーマス・マケイン (アバディーン大学エルフィンストン研究所大学院所長)

◆立命館大学大学院 文学研究科 英語圏文化専修とは?◆

言語と文化を分野横断的な視野を持ちつつ、専門的に追求するプログラムです。異なる専門分野の研究者が連携し、現代社会の要求に応えられる超域的な学際研究を目指すこの専修では、ことばの流れや人の移動などが引き起こすダイナミックな変化を、過去・現在・未来に意識を開いて追求します。日常的な人間の表現活動も洞察し、「表現されたもの」と「表現されなかったもの」の両方の意味を考えます。院生は英語と日本語の運用能力を磨きつつ、論理的な批評能力や創造性を養っています。

立命館大学 衣笠キャンパス へのアクセス

- JR・近鉄 京都駅より 市バス 50・205
- JR 円町駅より 市バス 15・204・205
- 阪急電車 西院駅より 市バス 205 大宮駅より 市バス 55
- 地下鉄 西大路御池駅より 市バス 205
- 京阪電車 三条駅より 市バス 15・59
- 市バス 15・50・55・59 にて「立命館大学前」下車 徒歩 5 分
- 市バス 204・205 にて「衣笠校前」下車 徒歩 10 分 (東門)



お問い合わせ先: 立命館大学 国際言語文化研究所

Tel: 075-465-8164 / Fax: 075-465-8245

Email: genbun@st.ritsume.ac.jp

文学部 ウェルズ恵子研究室

Tel: 075-466-3255 / Email: wells@lt.ritsume.ac.jp